

第46週の発生動向 (2007/11/12~2007/11/18)

1. 咽頭結膜熱については、東地方+青森市保健所管内において、第45週から**警報**が続いています。
2. 水痘については、五所川原保健所管内において、新たに**注意報**が出されています。
3. 感染性胃腸炎については、むつ保健所において、増加傾向(当該週70人 先週64人)にあることから他の地域においても注意が必要です。

第46週五類感染症定点把握 注:五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

保健所名 疾患番号・疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)		定点数						
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(100) インフルエンザ			11	0.73									11	0.17	10											
(72) RSウイルス感染症			4	0.44	4	0.44	2	0.40					10	0.24	-1											
(73) 咽頭結膜熱	21	2.33	5	0.56	5	0.56					2	0.50	33	0.79	1					21	2.63					
(74) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	1.00	17	1.89	4	0.44	1	0.20	12	2.00	5	1.25	48	1.14	-5	2	2.00	7	0.88							
(75) 感染性胃腸炎	47	5.22	16	1.78	6	0.67	15	3.00	26	4.33	70	17.50	180	4.29	29	5	5.00	42	5.25							
(76) 水痘	5	0.56	6	0.67	5	0.56	21	4.20	17	2.83	11	2.75	65	1.55	1			5	0.63							
(77) 手足口病	3	0.33	29	3.22	1	0.11			1	0.17	1	0.25	35	0.83	-5				3	0.38						
(78) 伝染性紅斑									1	0.17			1	0.02	-6											
(79) 突発性発しん	3	0.33	3	0.33	1	0.11	1	0.20	4	0.67	4	1.00	16	0.38	3				3	0.38						
(80) 百日咳															0											
(81) 風しん															0											
(82) ヘルパンギーナ	2	0.22											2	0.05	-1				2	0.25						
(83) 麻疹(成人を除く)			4	0.44									4	0.10	-10											
(84) 流行性耳下腺炎	1	0.11	1	0.11	1	0.11	1	0.20					4	0.10	-3				1	0.13						
(86) 急性出血性結膜炎															0											
(87) 流行性角結膜炎					1	0.50	7	7.00	1	0.50			9	0.82	1											
(95) マイコプラズマ肺炎					4	4.00					1	1.00	5	0.83	3											

■ は警報 ■ は注意報 「空欄」: 患者発生数 0

表 以外の感染症法対象疾患 (注:結核については4月1日からの累計で、届出数は速報値です)

- (9) 結核(二類全数把握疾患): 弘前3人、八戸2人、上十三1人 (19年計:163人)
- (64) 後天性免疫不全症候群(五類全数把握疾患): 弘前1人 (19年計: 3人)
- (96) 成人麻疹(基幹定点把握疾患): むつ1人 (19年計: 11人)

感染症の窓

インフルエンザ

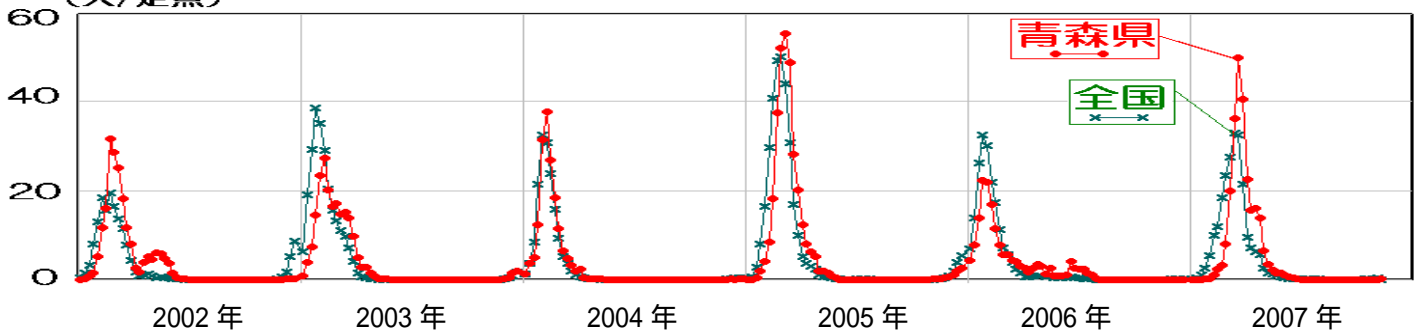


図 全国及び青森県における発生状況 (2002年~2007年)

本疾患は、インフルエンザウイルスによる急性気道感染症です。1~3日の潜伏期間の後、突然の高熱(38以上)と悪寒、頭痛、筋肉痛、全身倦怠感などの症状を伴い発症します。現在、弘前保健所管内において、集団風邪による学年閉鎖措置がとられ(11/20~11/22)、感染症発生動向調査第46週では、同管内において、11人(内訳:型別はすべてA型、3歳~8歳:10人、40歳台:1人)の届出がありました。図に示すように、過去6年間では、2004-2005年シーズンに多い報告数となっており、12月あたりから2月頃にかけて最も流行します。予防には、**帰宅時のうがいやマスクの着用、流行前の予防接種**などがあります。また、咳をする時は他人から顔をそむけることやマスクの着用、鼻汁や痰などは蓋付きの廃棄物に捨てるなどのエチケットが重要です。

関連情報:保健衛生課:県民のみなさまへ~インフルエンザ予防について~http://www.pref.aomori.lg.jp/kansen/07_08_flu.html

厚生労働省:今冬のインフルエンザ総合対策について<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/index.html>

「ひろげるなインフルエンザ ひろげよう咳エチケット」(今冬のインフルエンザ総合対策として厚生労働省が掲げる標語です)